

令和7年度 神奈川県立横浜国際高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

| | |
|--------------|---|
| 名称 | 神奈川県立横浜国際高等学校 学校運営協議会 |
| 開催日時 | 令和8年3月16日(月) |
| 開催場所 | 会議室 |
| 出席者 (役職名) | <p>水上 雅人 (Leadership for Everyone 代表)</p> <p>宮嶋 泰子 (一般財団法人カルティベート代表理事)</p> <p>海野 多枝 (東京外国語大学大学院総合国際日本学研究院教授)</p> <p>小川 博芳 (六ツ川上第二自治会会長)</p> <p>小松崎 徹 (山王台西自治会会長)</p> <p>羽入田 眞一 (横浜国際高等学校初代校長)</p> <p>島 武彦 (横浜国際高等学校校長)</p> <p>(欠席)</p> <p>西藤 聡一郎 (六ツ川高等学校同窓会会長)</p> <p>岡田 行央 (横浜国際高等学校 PTA 会長)</p> |
| 会議内容 | <p>○委員からの主な質問・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外帰国生徒特別募集の志願状況について、神奈川総合高校の倍率は横浜国際高校と比較して高いが、どのような理由か。 ・総合型選抜や公募制推薦が増えている印象だが、合格者数から見てこれらの入試制度で合格することは難しいのか。校内で実施している模擬面接の効果はどの程度あるのか。ほかに実施した対策はあるのか。 ・進路指導・支援の4年間の目標の中に「生きる力の育成を目指し、自主的に将来の進路や職業について深く学び、人生設計ができる資質・能力を育む」とあるが、今年度力を入れて取り組んだことは何か。また、それに対する生徒の反応はどうか。 ・今年度は地域のコミュニティバスの運行が実現した。その際に横浜国際高校の生徒たちがバス表面のすばらしいデザインを提供してくれた。より多くの方々が利用できるよう、運行時間の調整やさくら祭りでのPR活動を計画している。また、地域と学校が連携した防災訓練も継続していきたい。 |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校運営協議会次第 ・校長より ・学校評価報告書 ・令和8年度入学者選抜について ・進路状況・合格者数 |
| 問合せ先 | 横浜国際高等学校 副校長 田代 045-721-1434 |